

「地域金融機関CLO」発行後情報開示サマリー
(平成18年9月末時点)

1. 発行の概要

項目	優先受益権	メザニン受益権	ジュニアメザニン受益権
発行証券総額	8,400,000,000円	250,000,000円	320,000,000円
固定配当率	0.41%	0.62%	1.07%
予定償還日または予定償還スケジュール	【当初どおり変更なし】 ・2005/7/15から3ヵ月ごと償還(休日翌営業日) ・平均年限(デフォルト、延滞が発生しない場合):1.625年	【当初どおり変更なし】 ・2005/7/15から3ヵ月ごと償還(休日翌営業日) ・平均年限(デフォルト、延滞が発生しない場合):1.625年	【当初どおり変更なし】 ・2005/7/15から3ヵ月ごと償還(休日翌営業日) ・平均年限(デフォルト、延滞が発生しない場合):1.625年
格付(維持、変更等)情報	【当初どおり変更なし】 Aaa(Moody's)、AAA(R&I)	【当初どおり変更なし】 A1(Moody's)、AA(R&I)	【当初どおり変更なし】 Baa2(Moody's)、BBB(R&I)

2. ストラクチャー、関係者概要

項目	開示内容
主な関係者の情報	
参加金融機関	株式会社山陰合同銀行、株式会社栃木銀行、株式会社中京銀行、株式会社福岡中央銀行、株式会社熊本ファミリー銀行、株式会社八千代銀行、西武信用金庫、岡崎信用金庫、碧海信用金庫、京都信用金庫、大阪東信用金庫、姫路信用金庫、尼崎信用金庫、淡路信用金庫(金融機関コード順)(6銀行、8信用金庫、合計14金融機関)
受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社
セラー	中小企業金融公庫
リスクに対する手当て	
信用補完・流動性補完	信用補完: 中小公庫が保有するシニア劣後受益権(2.12億円)の設定 参加金融機関が保有するジュニア劣後受益権(約6.4%~約28.6%)の設定 流動性補完: 流動性補完の措置はない
相殺リスク	当初から全ての債務者に関して、債権譲渡に関する確定日付ある証書による異議を留めない承諾を取得する他、金銭消費貸借契約において相殺禁止条項を加える等の手当てがなされている。
劣後部分現存額	シニア劣後受益権: 123,670,000円 ジュニア劣後受益権(合計): 629,617,004円
劣後部分毀損額	
シニア劣後受益権	(合計)ー (うち通常償還要因)ー (うちデフォルト要因)ー
ジュニア劣後受益権(合計)	(合計)ー (うち通常償還要因)ー (うちデフォルト要因)ー

3. 裏付資産の属性、性質

項目	債券発行時点(平成17年3月)	平成18年9月末時点
債権残高	10,353,000,000円	5,090,318,000円
元本残高率	100%	49.17%
延滞率(注1)	0%	0.07%
デフォルト率(注2)	0%	0.00%
累積デフォルト率(注3)	0%	1.10%
債務者数	507社	501社
一債務者あたり 平均貸出額	20,420,118円	10,160,315円
加重平均残存期間 (WAM)	19.5ヶ月	5.3ヶ月

債権残高及び債務者数については、現状有姿交付及び期限前弁済を控除したものである。

(注1)延滞率:報告期間中の延滞発生金額/ 期初債権元本残高(%)

(注2)デフォルト率:期中発生デフォルト債権額/ 期初債権元本残高(%)

(注3)累積デフォルト率:累積デフォルト債権額/債権発行額(%)